FTD-W17VS ユーザーズマニュアル

このたびは本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書は弊社製液晶ディスプレイ製品 FTD-W17VSの取扱方法や注意事項について解説しています。本製品を使用する前に必ず最後までお読みになり、正しく使用してください。なお、本書は必要なときにすぐに参照できるように保管してください。

- テレビチューナーが内蔵されているため、テレビを見ることができます。【P23】
- パソコンの画面とテレビの画面を同時に表示することができます。【P24】
- パソコンのアナログRGBコネクタおよびデジタルコネクタに接続できます。
- S端子・コンポジットビデオ入力、テレビ出力端子を搭載しています。
- 自動調整機能を搭載しており、画面表示を自動的に調整できます。【P22】
- スムージング機能を搭載しており、1280×768ドットよりも低い解像度で拡大表示した場合でも、文字やグラフィックをなめらかに表示できます。【P17】

リモコンの使いかた

本製品には、リモコンが同梱されています。このリモコンを使用すれば、テレビを見たり、画面を切り替えたりすることができます。ボタン名称とはたらきは、下記を参照してください。

メモ リモコンを使用するときは、リモコンを本製品の受光部に向けて操作してください。

■ **チャンネル設定(P23)**
1〜12ボタンに任意のチャンネルを割り当てる際に使います。

■ **音声切替**
PC/PIPの音声を切り替えます。

■ **PIP**
PICTURE IN PICTURE
機能のON/OFFを設定します。

■ **チャンネル＋**
チャンネルを切り替えます。

■ **音量－**
音量の調整をします。

■ **EXIT**
OSD画面を閉じます。

■ **消音**
音声を消音します。

■ **1〜12ボタン**
チャンネルを選択します。

■ **TV**
テレビ画面に切り替えます。

■ **電源**
本製品の電源をON/OFFします。

■ **PC-A**
パソコン画面(アナログ)に切り替えます。

■ **PC-D**
パソコン画面(デジタル)に切り替えます。

■ **VIDEO**
ビデオ画面(S-Video、Video1、Video2の順)に切り替えます。

■ **MENU**
OSD画面を表示します。

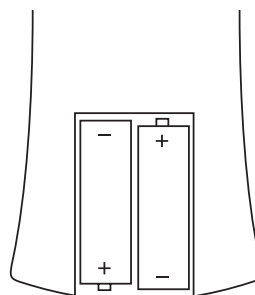
■ **音量＋**
音量の調節をします。

■ **チャンネル－**
チャンネルを切り替えます。

■ **全画面**
表示する画面の大きさを3段階で変更します。

■ 電池について

出荷時状態では、リモコンに電池が入っていません。ご使用になる前に、裏面下部のカバーを外してセットしてください。

※電池の極性(＋と－)を間違えないようにセットしてください。
　電池が消耗した場合は、市販の単4形電池をお買い求めください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。
なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

本書に使われている表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的障害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告、注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制

電源ケーブルは、必ず本製品付属ものを使用してください。
付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本体やケーブルの上に物を置かないでください。
故障や火災の原因となることがあります。

禁止

故障した状態（画面に何も表示されないなど）で使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。修理のご依頼は、本書巻末の「修理について」を参照してください。

強制

ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。

落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

⚠ 注意

液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

ゴムやビニル製品を長時間接触させておかないでください。
本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニルが付着してとれなくなることがあります。

液晶ディスプレイについて

万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。

使用するとき

シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。
液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。

水分はすぐに拭き取ってください。
水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。

長時間、連続してディスプレイを見続けないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。

液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。

禁止

パソコンの電源スイッチがONになったままの状態で、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。

お手入れ

禁止

溶剤を使用しないでください。

液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチを OFF にし、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

注意

液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。

液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しない場合があります。

使用環境

注意

直射日光、高温・多湿に注意してください。

直射日光が当たる場所や周囲の温度が 40℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。

強制

使用条件を守って使ってください。

温度(10 ～ 35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。

注意

低温に注意してください。

室温が 10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。

注意

急激な温度変化に注意してください。

動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。

禁止

次の場所には設置しないでください。

感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。

- 強い磁界が発生するところ .... 故障の原因となります。
- 静電気が発生するところ .... 故障の原因となります。
- 振動が発生するところ .... けが、故障、破損の原因となります。
- 不安定なところ .... 転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ .... 故障や変形の原因となります。
- 漏電の危険があるところ .... 故障や感電の原因となります。

長期間使用しないとき

強制

直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。

長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。

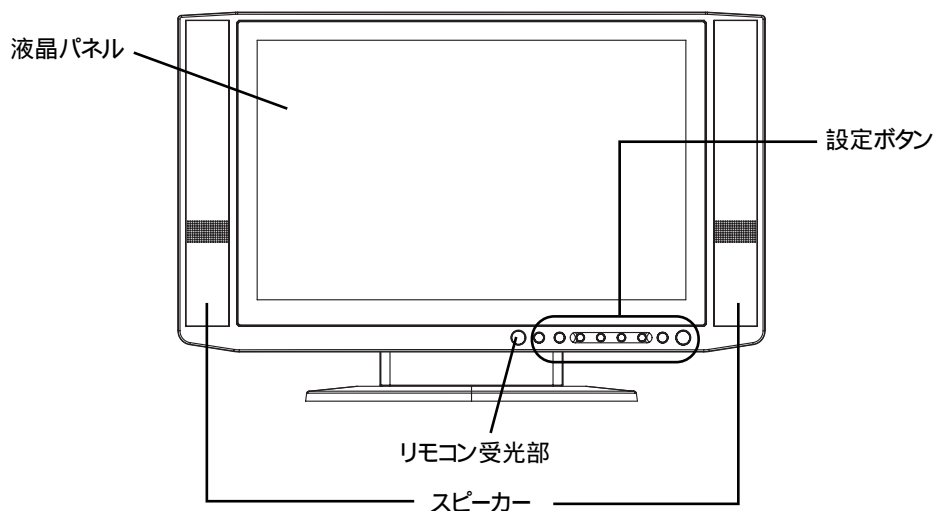
本製品の廃棄方法について

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

● 本体 1台

● リモコン 1台

● 乾電池(単4形) 2本

● アナログディスプレイケーブル(D-Sub15ピン) 1本

● デジタルディスプレイケーブル(DVI24ピン) 1本

● ACアダプタ 1個

● ACコード 1本

● ステレオケーブル(φ3.5㎜ジャック) 1本

● USBケーブル 1本

● オーディオ変換ケーブル(φ3.5㎜ジャック⇔RCAピンジャック) 1本

● 映像ケーブル(RCAピンジャック) 1本

● フロッピーディスク「FTD-W17VS Utility Disk」（以降 Utility Disk と表記） 1枚

● 手入れ用クロス 1枚

● ユーザーズマニュアル（本書） 1冊

● 保証書、ユーザー登録はがき 1枚

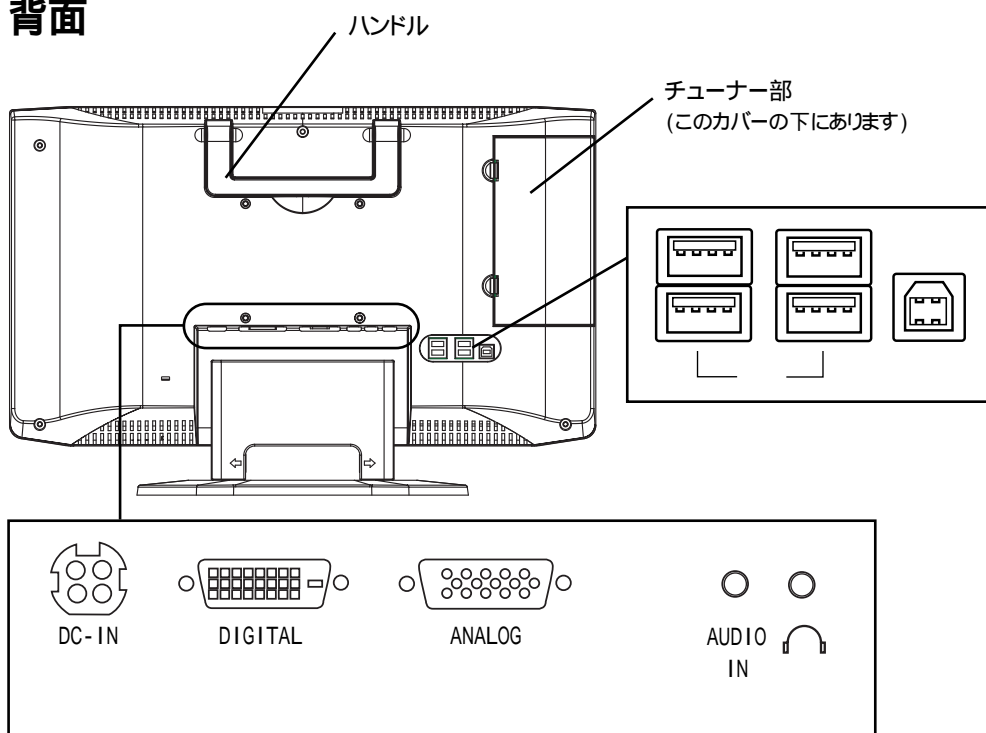
※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

※ パッケージに別紙で追加情報が同梱されている場合は、必ず参照してください。

各部の名称とはたらき

■ 前面パネル

ボタン名称	シンボル	機能
メニューを開く、 実行ボタン	OSD MENU	・OSDメニュー画面を開きます。 ・OSD設定で選択された項目を選択決定します。
OSDメニュー閉じる (戻す)ボタン スピーカーをミュートする ホットキー	MUTE EXIT	・OSDメニューを閉じます。 ・OSDサブメニューからメインメニューへ 戻ります。 ・OSDメニューが開いていないとき、 音を消音します。
項目の選択、 数値設定ボタン 音量のホットキー	SOUND ◀	・左方向に項目を移動します。 ・OSDメニューが開いてないとき、 スピーカーの音量を調整します。
項目の選択、 数値設定ボタン 輝度のホットキー	BRIGHTNESS ▶	・左方向に項目を移動します。 ・OSDメニューが開いてないとき、 輝度の調整を行います。
項目の選択、 チャンネルの選択ボタン	－	・数値設定の変更を行います（数値下降）。 ・テレビの受信チャンネルを選択します （数値下降)。
項目の選択、 チャンネルの選択ボタン	＋	・数値設定の変更を行います（数値上昇）。 ・テレビの受信チャンネルを選択します （数値上昇)。
入力切り替えボタン	INPUT	入力を切り替えます。PIPがONの状態でPC画面やテレビ画面に切り替える場合は、リモコンで切り替えてください。【P2】 (PCアナログ D-SUB、PCデジタル DVI-D、テレビ、ビデオ1、ビデオ2)
パワーボタン	⏻	電源のON/OFFを行います。

■ 背面

① **DCコネクタ**
付属の電源ケーブルを接続します。

② **デジタルコネクタ**
付属のデジタルディスプレイケーブル(DVI24ピン)を接続します。

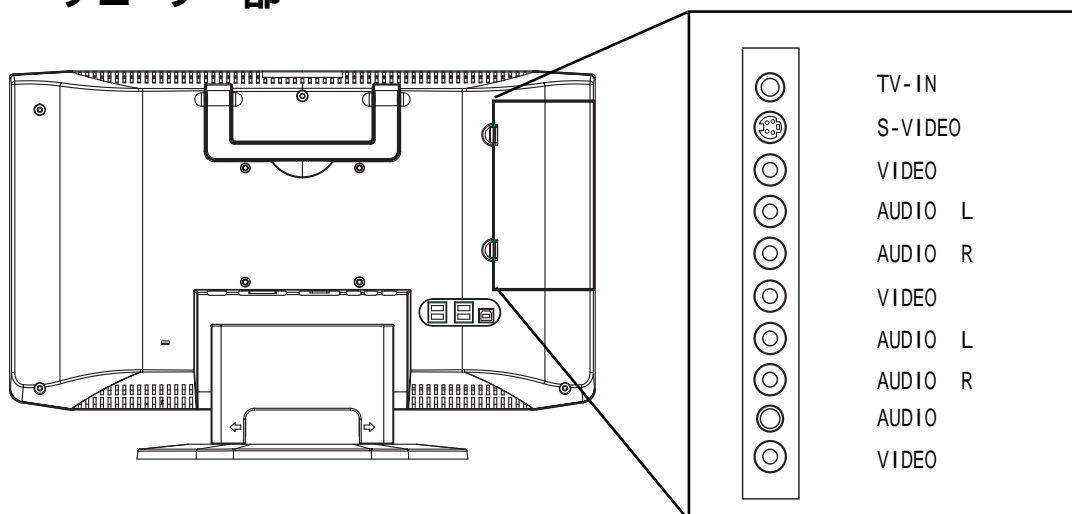
③ **アナログコネクタ**
付属のアナログディスプレイケーブル(D-sub15ピン)を接続します。

④ **AUDIO入力コネクタ**
付属のオーディオケーブルで、パソコンのサウンド出力コネクタと接続します。

⑤ **ヘッドフォン出力コネクタ**
ヘッドフォンを接続します。

⑥ **USBポート(USB1.1;タイプA)**
USB機器(マウスやキーボードなど)を接続します。

⑦ **USBポート(USB1.1;タイプB)**
付属のUSBケーブルで、パソコンと接続します。

■ チューナー部

① **アンテナ入力コネクタ**
アンテナケーブルを接続します。

② **S-VIDEO入力コネクタ**
S-VIDEOケーブルを接続します。

③ **VIDEO入力コネクタ**
ビデオケーブルを接続します。
（S-VIDEOと併用される場合、S-VIDEOが優先されます。）

④ **AUDIO L（左音声）入力コネクタ**
ステレオケーブルを接続します。

⑤ **AUDIO R（右音声）入力コネクタ**
ステレオケーブルを接続します。

⑥ **VIDEO入力コネクタ**
ビデオケーブルを接続します。

⑦ **AUDIO L（左音声）入力コネクタ**
ステレオケーブルを接続します。

⑧ **AUDIO R（右音声）入力コネクタ**
ステレオケーブルを接続します。

⑨ **TV音声出力コネクタ**
付属のオーディオケーブルを接続します。

⑩ **TV映像出力コネクタ**
ビデオケーブルを接続します。